



TITLE:

[主要な教育研究設備]主要教育研究設備

AUTHOR(S):

CITATION:

[主要な教育研究設備]主要教育研究設備. 京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 2001, 2000年(平成12年): 4-4

ISSUE DATE:

2001-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/172131>

RIGHT:

4 主要な教育研究設備

4.1 主要教育研究設備

花山天文台

45 cm 屈折望遠鏡、70 cm シーロスタット太陽望遠鏡、花山画像処理システム (KIPS)、
18 cm 屈折望遠鏡、太陽フレアモニター望遠鏡

飛騨天文台

60 cm 反射望遠鏡、65 cm 屈折望遠鏡、60 cm ドームレス太陽望遠鏡、太陽フレア
監視望遠鏡

4.2 平成 12 年度の主な改修改良事項

(1) 飛騨天文台 ドームレス太陽望遠鏡観測装置の整備

(a) ファブリペローフィルターの導入 (学長裁量経費 教育基盤設備充実経費)

ドームレス太陽望遠鏡での $H\alpha$ 撮像観測は、これまで透過幅 0.25 \AA のリオフィルターを用いて行われてきました。より迅速に透過中心波長を変更して、高精度・高時間分解の $H\alpha$ 撮像観測ができるように、リシウムニオベート固体結晶エタロンを用いたファブリペローフィルターを導入しました。これは、固体結晶に印加する電圧を変えることによって、透過中心波長を変えることができるものです。その主な仕様は、

- 透過中心波長: 6562.8 \AA
- 透過幅: 0.25 \AA
- 波長可変範囲: $H\alpha$ 中心から長短それぞれ 2.5 \AA
- 口径: 50mm
- 温度制御: 変動幅 0.03 度以内の恒温セル

です。透過波長の変更は、パソコン制御のもとで行われます。

(b) 高分解 $H\alpha$ 単色像データの収納システムの増強・整備

高分解 $H\alpha$ 単色像システムでは、1 フレームが 8MB の大きなサイズのデータとなっています。これまでは、2 つの 37GB リムーバブルディスクを交互に用いて、観測時のデータ格納、データの DDS テープへの保存を行ってきました。今年度に、データの予備的な整理、及びクイックルック用ムービーの作成システム等が整備されました。これに伴い、これらの処理を、観測と並行して行えるように、新たに 37GB(10000rpm) のリムーバブルディスクを増強しました。